

喜歌劇 **メリー・ウイドウ**

The MERRY WIDOW NEWS



高野百合絵
Yurie TAKANO

並河寿美
Hisami NAMIKAWA



黒田祐貴
Yuki KURODA



大山大輔
Daisuke OYAMA

スターはここから生まれる!

注目のキャスト特集

▶裏面は、佐渡裕芸術監督が語るメリー・ウイドウ!

これまで国内外の様々な歌手が出演してきた芸術監督プロデュースオペラ。すでに世界的に活躍するスターはもちろん、初出演後にさらに活躍の場を広げた歌手や、プロデュースオペラの“顔”になっていった歌手もいます。今回の『メリー・ウイドウ』、ハンナとダニロのカップルは、今後が期待される新たな才能と、今や日本のオペラ界をけん引するお馴染みの歌手という2組!“佐渡オペラ”らしいバラエティ豊かな競演をお楽しみください!

初日にハンナを演じるのは**高野百合絵**。大器の片鱗はすでに高校生の時から。2012年に日本クラシック音楽コンクールで第1位を獲得、その際にはここ芸術文化センターで披露演奏会に出演していたのです!また、高校在学中には選抜高校野球大会の開会式で、大学在学中には「甲子園ポウル」式典で、阪神甲子園球場にて国歌を独唱しており、自身にとっても「西宮市は歌手としての原点になった思い出深い場所」と語ります。以降、研鑽を積み、若くしてめきめきと頭角を現してきました。今回、オーディションによりハンナ役に決定!佐渡監督も「**華があり、大舞台の中心になれるオーラを持っている**」と太鼓判を押しています!

もう一組のハンナ役はソプラノ**並河寿美**。2005年『ヘンゼルとグレーテル』や2006年『蝶々夫人』に出演した当初はまだ“地元期待の星”でした。その実力が認め

られ、以降2012年『トスカ』題名役や2017年『フィガロの結婚』伯爵夫人役など、着実に存在感を増してきました。当センターだけでなく、関西一円を見ても、**今や主要な役で引く手あまたのプリマドンナ!**2008年の『メリー・ウイドウ』ではキュートなヴァランシエヌを好演しましたが、今回はハンナ役。時を経て、さらに磨きのかかった舞台姿で魅了してくれることでしょう。

ダニロ役に今回大抜擢されたのは**黒田祐貴**。昨年に上演される予定だった日生劇場での『セビリアの理髪師』フィガロ役に起用され、注目を集めた逸材です。その公演は残念ながら感染症拡大の影響で中止になってしまったため、今回の『メリー・ウイドウ』が大規模な公演でのデビューになります!実は、2008年にダニロ役で出演した黒田博さんのご子息。佐渡監督も「お父さんのことは昔からよく知っていて、二代続けてのダニロに縁を感じる。ただ、それ

を抜きにしても素晴らしい声で将来性があり、今後が期待できる歌手」と、絶賛!

もう一組でダニロを演じる**大山大輔**も13年前は、2008年の『メリー・ウイドウ』が大舞台でのデビュー作となる新星でした。にもかかわらず、**当時、故・佐藤しのぶさんの相手役を堂々と務め、鮮烈な印象を残しました。**以降の活躍はご存知のとおり。2013年のプロデュースオペラ『セビリアの理髪師』フィガロ役、井上道義さん指揮による『フィガロの結婚』同役などのほか、自身でプロデュースも行うマルチな才能の持ち主として、日本中で活躍しています。

そう、プロデュースオペラは、様々な歌手たちの才能が開花し、磨き上げられていく様を間近にご覧いただける場なのです!どうぞご期待ください!



大学院在学中にはNISSAY OPERA 2018『コジ・ファン・トゥッテ』(日生劇場)ドラベツラ役をオーディションで射止めた**高野百合絵**。

撮影:三枝近志、提供:公益財団法人ニッセイ文化振興財団(日生劇場)



2008年『メリー・ウイドウ』ではヴァランシエヌ役で出演した**並河寿美**。気品のある佇まいと安定感で、今や日本を代表する歌手に。



2017年、東京藝術大学でのオペラ定期公演『フィガロの結婚』伯爵役を演じる**黒田祐貴**。今年2月にはデビュー・アルバム「Meine Lieder」もリリース。



2008年『メリー・ウイドウ』でダニロ役を演じる**大山大輔**。プロデュースオペラ、コンサートに多数出演し、佐渡監督も厚い信頼を寄せる。